

令和6年3月吉日

足立区立加賀中学校
校長 森田 卓司 様

足立区立加賀中学校 開かれた学校づくり協議会
会長 横田 夏夫

令和5年度 学校関係者評価書

1 校長自己評価・保護者・生徒評価全般について

コロナも5類扱いとなり、コロナ前の活動・行事等が再開しました。そんな中、今年度は創立40周年記念行事も実施し、多くの来賓が臨席し盛大に挙行できたことは喜ばしいことだと思います。

今年度も、おおむね適切な自己評価、保護者・生徒評価がされたと考えます。生徒と保護者の年度末評価アンケートの結果を見たところでは、学力向上のための取組や保小中連携教育を通して、学力の向上と落ち着いた学校づくり、生徒の自主性向上については一定の成果が出ていると思います。校長の自己評価では、厳しい評価もありますが、大方良いと判断します。地域としても、生まれてから中学校卒業までの15年間を通した保小中連携教育を推進し、保育園・小学校・中学校・家庭・地域が連携を図った特色ある活動を行っています。

花いっぱい運動の取組や生徒会を中心とした生徒によるボランティア活動からは、生徒一人ひとりの成長が感じられ、家庭・地域から信頼される学校として位置づけられていくと考えます。

評価できる点、努力してほしい点としては以下の3点です。

- (1) 生徒が意欲をもって学習に取り組めるよう学力の向上に向けて努力し、生徒一人ひとりに応じた学習を充実させているとのことですが、その成果の見える化を図ってほしいです。
- (2) 「児童・生徒の学力の向上」と「落ち着いた学校づくり」をねらいとした保小中連携は、保育園・小学校との連携も定着しています。今年度はあいさつ運動、地域合同清掃も連携して実施できて良かったです。中学生と保育園児が手をつないで地域をまわり清掃している姿は、地域の宝です。これからも継続してほしいです。
- (3) 落ち着いた学校である時ほど「見落とさない、見過ごさない、見放さない」という指導方針に沿って生徒指導にあたり、引き続き安心・安全な学校づくりに努めてください。そのなかで、やはり気になるのが不登校生徒の人数です。かなり多くの生徒さんが不登校になっていると聞いています。原因、対応、未然防止策等を共有できるといいと思います。良いことばかりでなく、学校の状況の大変なこと、困っていることなどもどんどん開かれた学校づくり協議会には提供してほしいです。よろしくお願いします。

2 学校から提示された「課題」について

自己評価書からは、今年度も「家庭学習」について課題でありました。「家庭学習の質を高める指導が求められる」とありますが、どのような指導をするか十分検討してほしいと思います。協議会としても、生徒の育成には学校と家庭・地域の連携が不可欠であると認識しています。家庭への働きかけを一層強め、家庭教育の充実を図っていきたいと思っています。